

宮城県加美町 旧上多田川小学校 音楽技能修得施設として活用 (株)国立音楽院



◆施設の基本情報

建築年度	1998（平成10）年度
廃校年度	2013（平成25）年度
活用開始年度	2017（平成29）年度
改修にかかった費用	約1.7億円 （うち自治体負担：約0.4億円）
改修に際して利用した国の補助金制度	地域再生戦略交付金、地方創生先行型上乗せ交付金、地方創生加速化交付金（所管：内閣府）
活用後施設名	国立音楽院宮城キャンパス
活用事業者名	(株)国立音楽院（有償貸与）
講師及び学生数	講師28名、学生29名

◆施設の概要

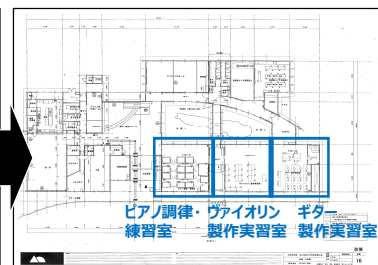
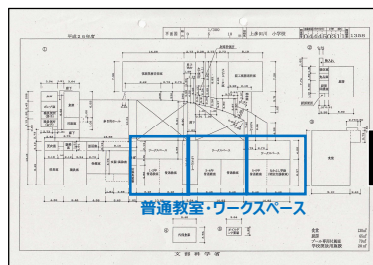
廃校となった上多田川小学校を改修し、音楽と仕事に関する教育環境を整備。施設を利用して(株)国立音楽院が音楽に関する専門職を育成する「国立音楽院宮城キャンパス」を開校。音楽の夢を志す若者たちが全国から集まり、日々、管楽器の修理や弦楽器製作、音楽療法などの技術修得に励んでいる。農業体験や音楽イベントの開催など加美町の特徴を生かしたカリキュラムにより、地域と学生の交流を促進し、地域に根差した学校運営に努めている。また、学校スタッフの移住や地元出身者のUターン、地元雇用なども生み出されたほか、若返りや幼児リトミックなど新しい福祉サービスも提供され、音楽を中心に過疎地に「にぎわい」を創出している。



◆廃校活用までの経緯

2013（平成25）年度から2年間、小学校の跡地利活用検討委員会を開催。委員会は、大学教授を座長とし、地域住民を中心とした10人で構成。アンケートの実施など地域の意見を傾聴し、「福祉施設」、「交流・教育施設」、「コミュニティ施設」における利活用について整理した最終報告書が提出された。

町の人口動態は、進学・就職層（10代後半から20代前半）の転出超過が著しく、その要因の1つには、町内には高校卒業後の進学先がないことが挙げられる。そこで、国内有数の音響効果を誇る「パルホール」に象徴され、地域に根付く「音楽」を切り口として若者を引き付けられないかと考え、音楽に関する職業技能を養成する教育施設として利活用の方針づけた。



活用成功した理由

本町は、2003（平成15）年4月に3町合併により誕生した町である。旧中新田町は、田んぼの中の音楽堂として全国的に知られている「パルホール」を中心に、音楽のまちづくりに取り組んできた。その精神は合併後の新町にも引き継がれ、パルホールを拠点とする市民オーケストラの設立や、一流演奏家によるアウトリーチ活動、全国屈指の実力を誇る小中学生マーチングバンド等が開催されている。このように地域には音楽が根付き、音楽は地域資源であると位置づけている。施設の利活用に関する住民の声と地域資源を組み合わせ誕生した音楽教育施設は特異性があり、音楽の夢を志す若者たちを呼び込むことに成功している。

自治体の声

学校は、長い歴史や文化の息吹を守り続け、地域の愛着によって支えられてきた施設です。その利活用については地域住民の要望や思いを真摯に受け止める必要があります。また、その思いを施設の利活用事業者と共有することも重要です。地域・自治体・企業が歩調を合わせることが、円滑な利活用の推進と利活用後の成果に期待できるものと思います。

今回、地域・自治体・企業それぞれがアイデアや役割を明確にしながら利活用事業に取り組み、新たに人の流れと仕事を創出することができました。施設の利活用がゴールではなく、恒久的な成果の創出に向け、引き続き官民連携して取り組んでまいりたいと思います。

活用決定までの課題・苦労したこと

施設の利活用については、地域からの提案を尊重した利活用方法であり調整に難航することはなかった。音楽技能修得施設として音楽に関する仕事の教育環境を整え、国立音楽院に貸与する計画であり、備品等については地方創生に関する交付金（先行型・加速化）を、改修については、地域再生戦略交付金を活用する地域再生計画の認定を受けた。しかし、地域再生戦略交付金が地方創生推進交付金の財源として再編され、ハード整備への活用が認められなくなり、起債を活用して整備したため予想外の財政負担が生じた。

施設スタッフや利用者からの声

上多田川小学校を利活用して開校した宮城キャンパスは、ピアノ調律、管楽器や弦楽器の製作・修理、リトミック、音楽療法、楽曲製作など音楽を仕事につなげる様々なスキルが学べる学校です。廃校前の小学校の雰囲気を残しながらも、ピアノ用防音室、バンド練習スタジオ、最新の機材をそろえたDTMルームなど充実した設備と自然豊かな緑にあふれ、音楽の学びに最高の環境です。音楽による町民との交流や地域行事への参加など都会ではできない様々なことが体験できます。新生活を始める学生を受け入れる町のサポートも充実しています。これからも地域のみなさんと一緒に「音楽のまち」加美町」を盛り上げていきたいです。